

大阪・関西万博の開催に向けた観光庁の取組み

外国人来訪者の受入れのための整備

観光地の「まちあるき」の満足度向上整備支援事業

○ 訪日外国人旅行者の来訪が特に多い観光地等において、公共交通機関の駅等から個々の観光スポットに至るまで、ICTも活用して、多言語案内標識や無料エリアWi-Fiの整備、域内の小売・飲食店を挙げたキャッシュレス決済対応、スマートごみ箱の整備、混雑対策の推進等のまちなかにおける面的な「まるごとインバウンド対応」や、これらと一体的に行う外国人観光案内所やの機能強化等を集中的に支援し、「まちあるき」の満足度の向上を目指す。あわせて、観光地の災害等の非常時の対応能力の強化を図る。

A ■ まちなかの周遊機能の強化（まるごとインバウンド対応）

○多言語表示の充実・改善

○エリア無料Wi-Fiの整備

■二次元コードも活用した多言語観光案内標識の一体的整備

■観光スポットの掲示物 HP等の多言語化

■無料公衆無線LAN環境の整備

■ワーケーション環境の整備（拡充）

○飲食店、小売店等も含めた地域における多言語対応、先進的決済環境の整備

■多言語翻訳システム機器の整備

■多言語翻訳用タブレット端末の整備

■メニューのオンライン化（拡充）

■先進的な決済環境の整備

■免税店電子化対応環境の整備等（拡充）

■多様な宗教生活習慣への対応力の強化

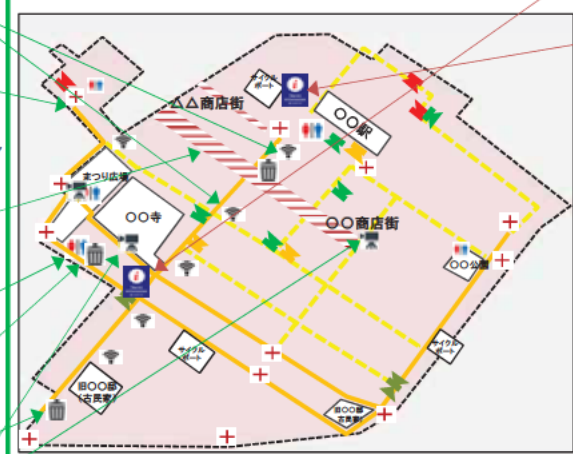
○トイレの洋式便器の整備及び清潔等機能向上

○観光スポットの段差の解消、ゴミ箱の整備（拡充）

○混雑対策の推進（拡充）

■洋式便器の整備及び清潔等機能向上（光触媒タイルの活用等）

地域の観光スポットに基づいた散策エリアと一体的整備イメージ



B ■ 観光地のゲートウェイとしての外国人観光案内所等の機能の強化

○情報発信機能の強化

■デジタルサイネージの整備

■VR機器の整備

■多言語音声ガイドの整備

■AIチャットBotの整備

■オンラインコンテンツの整備（拡充）等

○訪日外国人旅行者への対応力の強化

■無料公衆無線LAN環境の整備

■多言語翻訳システム機器の整備

■多言語案内用タブレット端末の整備

■免税対応端末、手ぶら観光

○外国人観光案内所等の情報提供基盤の強化

■地域におけるコト消費促進のための環境整備等

C ■ 非常時情報発信機能の整備

■ファンタジーゾーンで活用した災害時情報発信機能の整備

- 事業主体**
- (1) 地方公共団体（港務局を含む。）
 - (2) 民間事業者（公共交通事業者等を含む。）
 - (3) 航空旅客ターミナル施設を設置し、又は管理する者
 - (4) 協議会等

- 地域要件**
- 以下を含む、訪日外国人旅行者の来訪が特に多い、又はその見込みがある観光地として観光庁が指定するもの
- 訪日外国人旅行者の評価が既に高い観光地
 - 重要な文化財や国立公園が所在する地域
 - 国際的なイベント 会議の開催等により、訪日外国人旅行者の来訪が多く見込まれる観光地

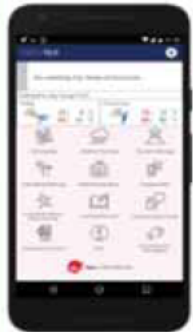
補助率	2分の1
実施要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ Aを1つ以上実施した場合、Bの事業も整備可能 ・ Cについては、メニュー単独での整備も可能

大阪・関西万博の開催に向けた観光庁の取組み

訪日外国人旅行者に対する熱中症等関連情報の発信

Safety tips

- 観光庁監修 訪日外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ
- 緊急地震速報、津波警報、気象特別警報、熱中症情報等をプッシュ型で通知できる他、対応フローチャートやコミュニケーションカード等、災害時に必要な情報を収集できるリンク集を掲載。



通常時



熱中症情報をプッシュ通知

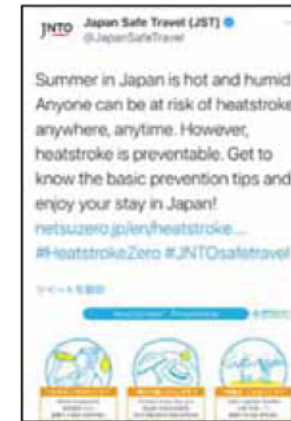


取るべき行動

JNTO公式SNSによる情報発信

Twitter : 英語、Weibo : 中国語

- 熱中症の危険が高まる6月～9月において、熱中症を予防するための情報を発信。



Twitterでの
発信例

大阪・関西万博を契機とした訪日プロモーション

- 日本政府観光局（JNTO）によるウェブサイト、アプリ等による各地域の魅力の発信等を通じて、大阪・関西万博を契機に来日する外国人来訪者を関西地域から国内各地へ誘客。



JNTO公式ウェブサイトやSNSによる情報発信事例



JNTOアプリを通じた
情報発信事例